

ご協力ありがとうございました ~オッコー祭り裏話~



▲東北の早期復興を祈願し、準備に取り組みました

最も熱く盛り上がったオッコー祭りがつい先日、無事に終了しました。今年は4月に役員構成が変わり、慣れないなかで多くの方にご心配、ご迷惑をかけましたが皆さまのご協力のもと、例年通り祭りを行うことができました。祭りは一日で終了しましたが準備は4月から始まっていました。特に今年は東北の復興祈願というテーマもあり、東北に縁のあるゲストの決定、物産店の商品の選定など、被災地へ富士見の声が届くか心配しました。その結果、ゲストは気仙沼出身のマギー審司さん



▲気仙沼出身のマギー審司さん

をお呼びすることができました。マギー審司さんご自身も被災地の慰労をたびたび行っており、そのなかで私たちの気持ちを伝えていただけたと考えたからです。短い滞在時間でありましたが、町民皆さんの気持ちを感じ、被災された方へきっとこの思いを届けてくれるとしんじ（審司？）しております。最後に義援金をはじめ、祭りに協力、参加していただきました皆さま、本当にありがとうございました。

~女性の瞳と笑顔と共に~ 第1回

地域の活性化や元気なまちづくりには、女性の力は欠かせません。様々な女性たちが町内で活躍しています。今月は、各団体が集結して組織されている『女性団体連絡会』をご紹介します。

Q1 女性団体連絡会とは?

女性団体間の横のつながりを密にして、女性の地位や意識の向上を目的に組織された会です。



Q2 会の発足はいつ?

昭和61年9月に「婦人団体連絡会」として発足しました。当時は13団体で会員数は延べ2,600人超でした。平成11年に名称を「女性団体連絡会」と改め、現在は6団体が所属、会員数は延べ300人程です。

Q3 活動内容を教えてください

一番大きな活動は、姉妹町である西伊豆町の女性団体との交流です。平成8年度から今年で16回目を迎える恒例行事になっています。

Q4 今後の抱負について

今年は諏訪地方女性懇話会の当番でもあるので、町の地域フォーラムに協力し、しっかりと活動していきたいと思っております。



▲会長の織田淑子さん

最後に一言!

各団体はそれぞれの立場で地域や人、自然環境のために独自の地道な活動を続けています。難しく考えないで、まず自分にできる事から始め、町民の皆さまに輪が広まって行けば最高です。皆さまの参加を心からお待ちしております。